

果樹栽培が扇面一帯に卓越するようになった。

経営耕地の規模は、水田地域も畑作地域もほぼ同じで、平均約0.7～1.0haであり、専業農家は少く農家総数の約17%で、第一種兼業農家が約51%である。東北地方の特徴として冬期の出稼ぎが多く、第一種兼業農家の約30%は出稼ぎを兼業としている。

水田単作が卓越する東北地方に果樹が導入される時、その投機性のために水田との複合経営の方法をとるのが一般であるが、乱川扇状地では水田を開くよりも、果樹栽培あるいはたばこ栽培の単一経営の方を選んでおり、果樹地帯では地域的・面積的広がりを背景に作業の共同化が普及しつつある。

静岡県駿東郡裾野町の地理学的研究

西 山 京 子

本論文は都市・工業化の当地域への影響という点に主眼を置き、且つ当地域の性格を把握することを目的とした。

論文の構成は次の通りである。

第1章 調査地域の自然環境では、調査地域の位置・地形・地質・表層物質・水系・気候をとりあげ、調査地域全体の自然環境について述べた。特に表土下には「富士マサ」と呼ばれる特殊な盤層が存在し、農業に大きな影響を与えていること、富士熔岩に覆われて地盤が非常に堅固であること、表流水が得にくいこと等が、本地域の主な自然的特色となっている。

第2章 人文概説では、本地域の歴史・集落立地の要因及び東富士演習場とそれに関する諸問題についてとりあげ、特に本地域の特色である東富士演習場関連事項に重点を置き地域性の一端を示した。

第3章 農業では、農業概観・農業用水・代表的農作物・畜産について述べた。本地域は専業農家が非常に少なく、僅か6.7%にすぎないが、その割合は地区によって異なり、須山地区や深良地区は2%台にとどまっている。これは農業経営と密接な関係があると考えられ、各地区の専業農家の割合と農業経営との関係についてみた。代表的農作物として水稲と芝をとりあげ、特に他の農作物と収益や投下労力および経費の面で比較しながら、芝栽培の優位性について述べた。畜産については酪農・養鶏・養豚をとりあげたが、広大な草地を必要とする酪農経営は草地が少ない本地域では振わず、今後も発展するものと思われない。一方養鶏や養豚は草地を必要としない代りに、大部分購入飼料に依存しているが、それらの需要増大に応じて、今後も発展してゆくものと思われる。

第4章 都市・工業化の影響では、近代工業の進出、別荘・住宅地としての開発、都市・工業化

の当地域に及ぼす影響について考察した。当地域は伝統的産業の衰退とは逆に、昭和35年以降から急激に近代工業が進出し、一方別荘・住宅地としての開発もめざましいので、それらの要因と原状について考えてみた。また都市・工業化の影響によるものとして人口動態・地価の高騰・農業経営の変化をとりあげ、地域の変貌と今後の予想について考えてみた。

第5章 要約では次のようにまとめた。

本地域のさまざまな自然的特殊性は農業を阻害しているが、工業進出には種々の利点を備えていると言える。本地域の現在の姿は農山村から脱皮し、工業・住宅の町へと発展してゆく過渡期の状態にあり、さまざまな面で変化している。従って今後の発展は大きいものと思われる。

都市化・工業化に伴う浜松市の変容

松 本 園 子

<p>第1章 概 説</p> <p>第2章 都 市 化</p> <p style="padding-left: 20px;">1 節 農業にみられる都市化</p> <p style="padding-left: 20px;">2 節 浜松市の地域構造</p>	<p>第3章 都 市 圏</p> <p style="padding-left: 20px;">1 節 通勤圏</p> <p style="padding-left: 20px;">2 節 購買圏・利用圏</p> <p style="padding-left: 20px;">3 節 人口流動圏</p>
---	---

第1章 概 説

浜松市の人口は現在40万人を越え、全国主要都市のうちで17位を占め、このうち都道府県庁の所在地を除くと、北九州・川崎・尼崎・堺に次ぎ、5位を占めている。上記の4市がわが国の四大工業地帯の一部として特別の地位を占めると認められるので、既成工業集積地帯以外の地域において、人口40万人を越える規模をもつ地方都市は、浜松市だけであるといえることができる。このような浜松市の発展は、当市が相当規模の工業的集積を持ち、又この工業的集積に伴う商業的機能・文化的機能を兼ね備えていることによるが、それに加えて東京・大阪の中間に位置するという地理的優位性が浜松市発展の最大の推進力となっていると思われる。

第2章 都 市 化

(1節) 農業にみられる都市化

兼業化率の増大、農業就業人口の減少、老令化・女性化へと質の低下、又作目の構成比においては麦類の著しい減少に反し、畜産・果実・高級野菜の急速な伸びが目立ち、以上の点から都市近郊